

ミュー News

男女がともにいきいきと輝き、
住んでいてよかったと思うまち「おおぶ」
住んでみたいと思うまち「おおぶ」の実現をめざそう

男 女 共 同 参 画 週 間

「意識を**カイカク**・男女で**サンカク**・社会を**ヘンカク**」

ミューいしがせでは、6月20日～26日の期間、男女共同参画週間事業として、講演会やワンデイシェフによるランチなど、様々な事業を開催しました。開催期間中、延べ3,387人の参加がありました。



～映画～「うまれる ずっと いっしょ」

オープニングとして、ドキュメンタリー「うまれる ずっと いっしょ」の上映会を行いました。3組の家族の物語を通して、家族とは？そして家族と共に生きることは、人生にどんな意味があるのか？また、幸せって何だろう？など「家族のつながり」について考えさせられる時間となりました。



【感想】

- 家族のあり方を改めて考える機会となりました。
- 3家族ともいっぱいの愛情を感じた。今までの人生を振り返ることができ、とてもいい作品でした。
- 大府市には映画館がなく、このようなチャンスは感謝です。

男女共同参画 啓発コーナー

『ジェンダーって??』

作:NPO法人ミューぶらん・おおぶ イラスト/安達



違います

～講演会・落語～ 「ニッポンの夫婦と男女共同参画」

「男女共同参画落語創作・口演家」として、男女共同参画に関するテーマで落語を分かりやすく、そして楽しく伝えてくださる千金亭値千金さんをお招きし、「ニッポンの夫婦と男女共同参画」のテーマで、落語・講演をしていただきました。千金亭さんは、埼玉県鶴ヶ島市の職員。財務、年金担当、公民館勤務を経験し、私生活では 99 年、結婚（事実婚・別姓）を機に、妻の体験から性差別の実態を知り、その解決策である男女共同参画への関心が高まったとのこと。第 2 子が 6 カ月～1 歳の半年間に育児休業を取得。落語鑑賞の趣味を活かし、ジェンダー、育児休業などを題材にした「男女共同参画落語」を創作し全国で口演しています。



講師：千金亭値千金さん
（男女共同参画落語創作・口演家）

創作落語「夫婦別姓」

ある村では結婚の際の決まりとして、夫婦二人の姓を男か女、どちらかの名字に統一することになっている。村民意識調査で、それぞれの名字＝別姓にしてもいいという人が半分を超えたので、村長の呼びかけで、きまりを変えるかどうか、話し合い始めた。別姓にしたい人は少数だ／少数でも幸せになる者がいれば／別姓の夫婦が増えたら混乱が起きる／どんな混乱だ？／名字が別々だと夫婦仲が悪くなる／別々のほうがうまくいく夫婦もいる／名字を同じにする村と別々にする村と、二つ作ったら？／村は一つのまま人間の生き方を二つに分ければ・・・



～歌いつなぐ・心つなぐ～ 「歌声喫茶」



歌声喫茶・大府店との共催でピアノの生演奏に合わせて懐かしの歌を歌う「歌声喫茶」を開催しました。お茶とお菓子を囲んで、みんなで楽しく歌いました。参加の皆さんは、歌うことで心も弾み、自然と笑顔あふれる楽しいひとときとなりました。

「上を向いて歩こう」や「川の流れのように」など誰でも口ずさめる懐かしい名曲や、童謡など 20 曲を歌い、会場は大いに盛り上がりました。



～今輝いている女性たち～

「女性議員を囲んでトークショー」

大府市で活躍する 6 名の女性議員と女性ならではの視点でみる「おおぶ」について様々なテーマでトークしました。働くひとりの女性として、家庭と仕事の両立についてのお話も伺うことができ、議員の皆さんをととても身近に感じることができ、有意義な時間となりました。



みんなで楽しくランチタイム♪



男女共同参画週間期間中、日替わりで6つの団体がランチを作りました。ちらし寿司、チキン南蛮、コロッケやおむすび弁当など、内容はシェフによって多様！最終日は毎年恒例、ミュールらん・おおぶによるランチバイキングでした。毎日足を運んでくださる方もいて、それぞれの味を楽しんでいました。



チャリティー

女性たちの起業に向けて 手づくり市



最終日の26日は、「チャリティー手づくり市」が行われました。

女性の活躍、社会との結びつききっかけづくりの場として、毎年男女共同参画週間中に行われています。また出店料や売り上げの一部が東日本大震災の復興支援金として寄付になるチャリティーイベントです。

当日は地元的女性らの手づくりの雑貨や焼き菓子、お花や野菜などが並び、延べ1,000人の来場者がありました。

子どもによる子どものためのゲームコーナーや、大道芸のステージもありました。また今年は子ども数名が震災の被災地のために何かできないか自分たちで考え、家で暇な時間にシュシュやピンどめを作成してイベント当日販売し、売り上げを募金してくれました。

各店舗の出店料やチャリティー商品・ワークショップの売り上げ、来場者の募金、東北物産市の純利益等、総額99,437円を『一般社団法人 aichikara』さんへ寄付しました。また、熊本支援としての募金14,530円を『NPO法人愛知ネット』さんへ寄付しました。皆さまのご来場、ご協力、ありがとうございました。



ジェンダーのおはなし



人は生まれてきた時に、一般に、男の子、女の子と区分をされています。このような生物学的な性別（Sex）に対し、文化や社会によってつくられる性別を「ジェンダー（Gender）」といいます。戸籍やパスポートに表記される男女の別ではなく、いわゆる男らしさ、女らしさといった人為的に作られた性差のことです。

ジェンダーの意識は、私たちの身の周りにはまだまだたくさんあります。みなさんも知らず知らずのうちに自分の中にジェンダーが刷り込まれていることに気がついていきますか？

ジェンダーチェックしてみよう



次の16の質問に答えてください。「NO」はいくつありますか？

- ①やっぱり女は女らしく、男は男らしい方がいい (YES • NO)
- ②女の子はおとなしくて、やさしい方がいい (YES • NO)
- ③生徒会長や責任のある仕事は男子が向いている (YES • NO)
- ④男には赤ちゃんの世話は無理だ (YES • NO)
- ⑤勉強やスポーツで女子が男子に勝つと気になる (YES • NO)
- ⑥算数や理科は男子、国語や音楽は女子に向いている (YES • NO)
- ⑦男は結婚したら家族を養うのは当たり前 (YES • NO)
- ⑧女の子は男の子よりていねいな言葉を使うべきだ (YES • NO)
- ⑨男のロングヘアは女みたいだと思う (YES • NO)
- ⑩冒険マンガの主人公は男の子のほうがふさわしい (YES • NO)
- ⑪子どもがうまれたら女性は仕事をやめた方がいい (YES • NO)
- ⑫男が人前で泣くとみっともない (YES • NO)
- ⑬男が家事をするのははずかしいことだと思う (YES • NO)
- ⑭男子が先、女子が後の名簿でもいいじゃないか (YES • NO)
- ⑮デートの費用は男性が払うべきだ (YES • NO)
- ⑯共働きでも料理や育児は女性がするべきだ (YES • NO)

「NO」が7以下の方
 やれやれ(+o+)

どうやら「らしさ」の迷宮に入り込んだようだね。「男らしさ」「女らしさ」にこだわり過ぎず、もっと自由に考えてみよう。

「NO」が8～13の方
 ふむふむ(^_^)

少し前までは、女の役割、男の役割と分けた方がいいと思っている人が多かったけど、これからは自分らしさを大切にしたいね。

「NO」が14以上の方
 そうそう(^o^)

女らしさや男らしさではなく、「自分らしさ」を大切にすることが大事だと分かりかけたかな？周りにも教えてあげよう。

いろいろな場面にジェンダーが隠れています。



学校で



女の子なのに字が汚い、男の子なのに泣き虫だ、など性別で行動を注意される

制服は女子がスカート、男子はズボンと決まっている。女子用のズボンがあってもいいと思う。

家庭で

女の子なんだから料理くらいできないと、男の子なんだからもっと勉強しなさいなど性別を理由に行動を決めつける

家事や育児は妻の仕事と決めつける



地域で

物事を決定するのは男性の役割、サポートするのが女性の役割など性別によって地域活動の役割が決められる

PTA会長など責任ある仕事は男性がやるべき

みんながイキイキと暮らすために



多様性を認め合い「自分らしく」生きる社会へ

学校や家庭、地域や職場など、様々な場面で、性別に縛られることなく、「自分らしく」イキイキと過ごせる社会になるよう、ひとりひとりの意識を変えていくことが多様性のある豊かな社会への一歩です。ミュウいしがせ（石ヶ瀬会館）では、ジェンダーを始めとする男女共同参画の講座を開催しています。ぜひ、ご参加ください。

夏まつり



7月16日・17日、石ヶ瀬コミュニティ主催の夏まつりがあり、毎年恒例の手作りコロッケをメンズカレッジ・男楽会のメンバーで販売しました。会社生活中心だった男性の地域参画を目的として、毎年参加しています。

両日で2,500個のコロッケを作りましたが、あっという間に完売しました。暑い中での作業は大変でしたが、地域のみなさんと触れ合いながらメンズカレッジのメンバーも夏まつりを楽しむことができました。



150kgのじゃがいもをみんなで下ごしらえ



ファミリーカUP講座 家族みんなで楽しもう!!



母の日！
パパと一緒に
お花の寄せ植えをつくろう！
ママにお花のプレゼント

講師：ガーデナー
武原美穂

5月15日に親子でお花の寄せ植えを作る講座を行い、10組の家族が参加しました。

バランスを考えながら4種類のお花を植え込む作業は思ったよりも大変で重労働。先生からアドバイスをもらいながら、子どもたちは慣れない手つきで寄せ植えを完成させました。持ち帰った後、お花はお母さんへのプレゼントになりますが、お世話は子どもたちのお仕事です！お手入れの方法を真剣に聞いて勉強していました。



夏休み！自由研究企画
ペットボトルで
野菜を育ててみよう！！

講師：M式水耕栽培研究所 社長 村井邦大
さわやか愛知 さわやかタウン 丸山冬芽

7月23日に、夏休み！自由研究企画として「ペットボトルで野菜を育ててみよう!!」を行いました。ペットボトルを使って水耕栽培容器を親子で作成し、ケールとソフトレタスを植え込みました。透明の容器に入れると根っこの長さや白さも良く分かり、子どもたちはびっくり！先生から育て方を真剣に聞いていました。長い夏休み、きちんとお世話をし、観察をして、家族でおいしく食べれるといいですね。



次回
お知らせ！
9/22～
受付開始

親子
8組

材料費
500円

対象
小学3年生
以上

パン・お菓子作り講師
山本佐知子



ハロウィンだ！家族でクッキング
かぼちゃのカップケーキをつくろう 10/22(土)
10:00～12:00
ハロウィンパーティに手づくりお菓子はありますか？ハロウィンを盛り上げる1品に♪

秋からのオススメ講座

暮らしに役立つマネー講座～子育て編～

8月2日～受付開始

日程：9/8（木）・15（木）・17（土）10：00～12：00 3回コース
 増税、教育費、ローン、物価高・・・何かとお金がかかるこの時代。子どもにかかる費用
 ってどのくらい？昨年好評だったマネー講座を今年も開催します。お金のあれこれをファ
 イナンシャルプランナーから学びます。 託児有・託児料900円

思春期の子どもと向き合う講座

8月2日～受付開始

日程：9/14（水）・28（水）・10/26（水）・11/5（土）
 10：00～12：00 4回コース
 思春期の子どもは謎だらけ。大人と子どものはざまで、子どもたちはいろいろなことと戦
 って大人になっていきます。思春期の子どもとの向き合い方について学びます。

広げよう！映画の楽しみ方

9月2日～受付開始

日程：10/6（木）・20（木）9：30～12：00 2回コース
 アメリカ映画「グラントリノ」・韓国映画「王になった男」を鑑賞し、そこに描かれる男女
 の生き方から自分自身の生き方を考えるヒントを得ませんか？

申込・問合せはミュージーいしがせ ☎：(0562)48-0588 まで

ミュージーいしがせ相談室～ひとりで悩んでいませんか～



女性の悩みごと電話相談

電話番号：**0562-44-9117**

女性が直面する様々な悩みについて、相談員が
 解決のための一歩を踏み出す応援をしています。
 ひとりで悩まず気軽に電話下さい。

専門相談員による女性のための面接相談日

- ※ 8月1日(月)・15日(月)・29日(月)
- ※ 9月5日(月)・20日(火)
- ※ 10月3日(月)・31日(月)

弁護士による女性のための法律相談日

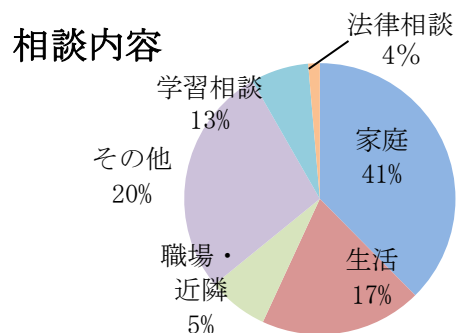
- ※ 9月 14日(水)

◆ 相談件数 ◆

	3月	4月	5月	6月
電話	33	46	56	32
面接	53	24	14	13
その他	13	4	1	1

相談件数 290 件 (内 DV155 件)

面接相談・法律相談は予約制です。



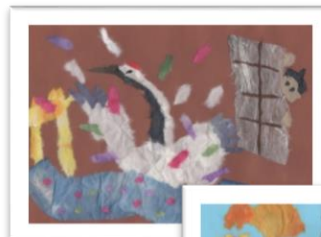
＊ふれあい広場 ～みんなが集う、学ぶ、語り合う場 ミューいしがせ～

活動報告

NPO法人ミューぷらん・おおぶでは「住んでいて良かったと思うまちおおぶ・住んでみたいと思うまちおおぶ」を目指して、色々な活動を展開しております。

TMY事業～チーム・みんなで・やろまい～

昨年より TMY では啓発のための活動として、皆さんに親しみのある童話をもとに男女共同参画の視点を盛り込んだ朗読劇を作り、市民の皆さんへ啓発活動として発表しています。現在、「かぐや姫」・「うらしま太郎」「つる女房」などの童話をもとに、オリジナルシナリオが完成しました。新作も現在進行中。みなさん、お楽しみに♪



DV シンポジウム

居場所を失った少女たちの支援の現場から
～「貧困」の中に生きる
少女たちのリアル～

- 日時 11月26日(土)
10:00～12:00
- 参加費 無料
- 託児あり 定員になり次第締め切ります

講師

仁藤 夢乃さん

女子高生サポートセンター・
一般社団法人 Colabo 代表理事



今、日本の中高生はどのような状況におかれているのか。活動の中から見えてきた実態をお話します。孤立・貧困する子ども達の背景には何があるのか、私たちには何ができるのか、一緒に考えます。

1989年生まれ。現在、少女たちとの日常的な関わり、相談・生活支援を通して「若者と社会をつなぐきっかけの場づくり」を行い、自立支援を行っている。著書『難民高校生 絶望社会を生き抜く「私たち」のリアル』（英治出版）など



ご意見・ご感想を
ミューぷらん・おおぶ
までお寄せ下さい。
問合せ先のTEL・
FAXまでどうぞ!



NPO 法人

ミューぷらん・おおぶ

問合せ先 〒474-0035
大府市江端町4-1 石ヶ瀬会館内
TEL:(0562)48-0588
FAX:(0562)44-9144

HPアドレス:<http://www.medias.ne.jp/~myuplan/>
Eメール:misigase@ma.medias.ne.jp